

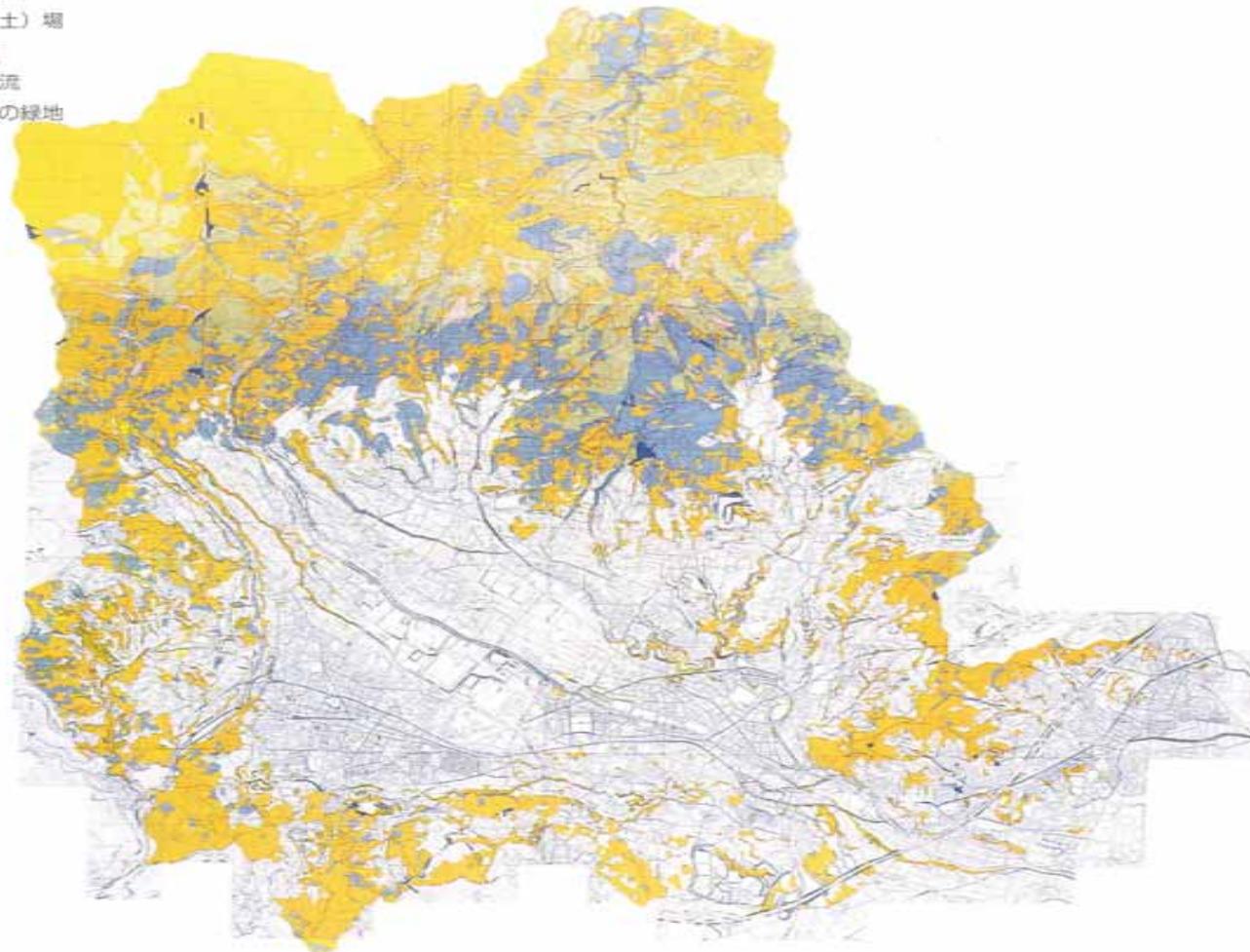
# 里山保全の背景 ( 秦野の特性 )

# 秦野市の全景



# 樹種別森林の状況

- 樹種コード
- その他
  - スギ
  - ヒノキ
  - マツ
  - その他針葉樹
  - 広葉樹
  - 竹林
  - 草地
  - 伐採跡地
  - 採石（土）場
  - 崩壊地
  - 荒廃渓流
  - その他の緑地

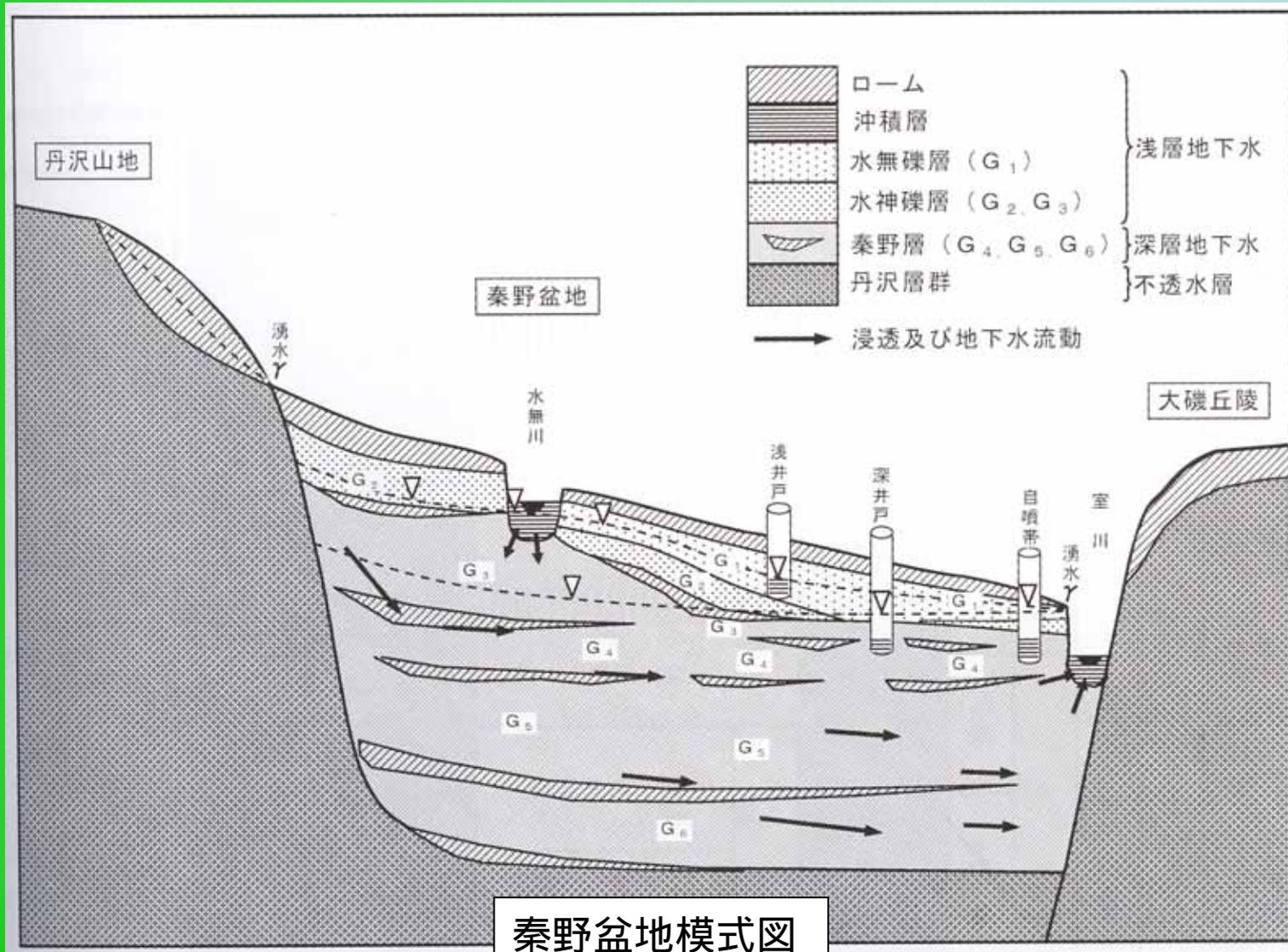


# 地下水と市民とのかかわり

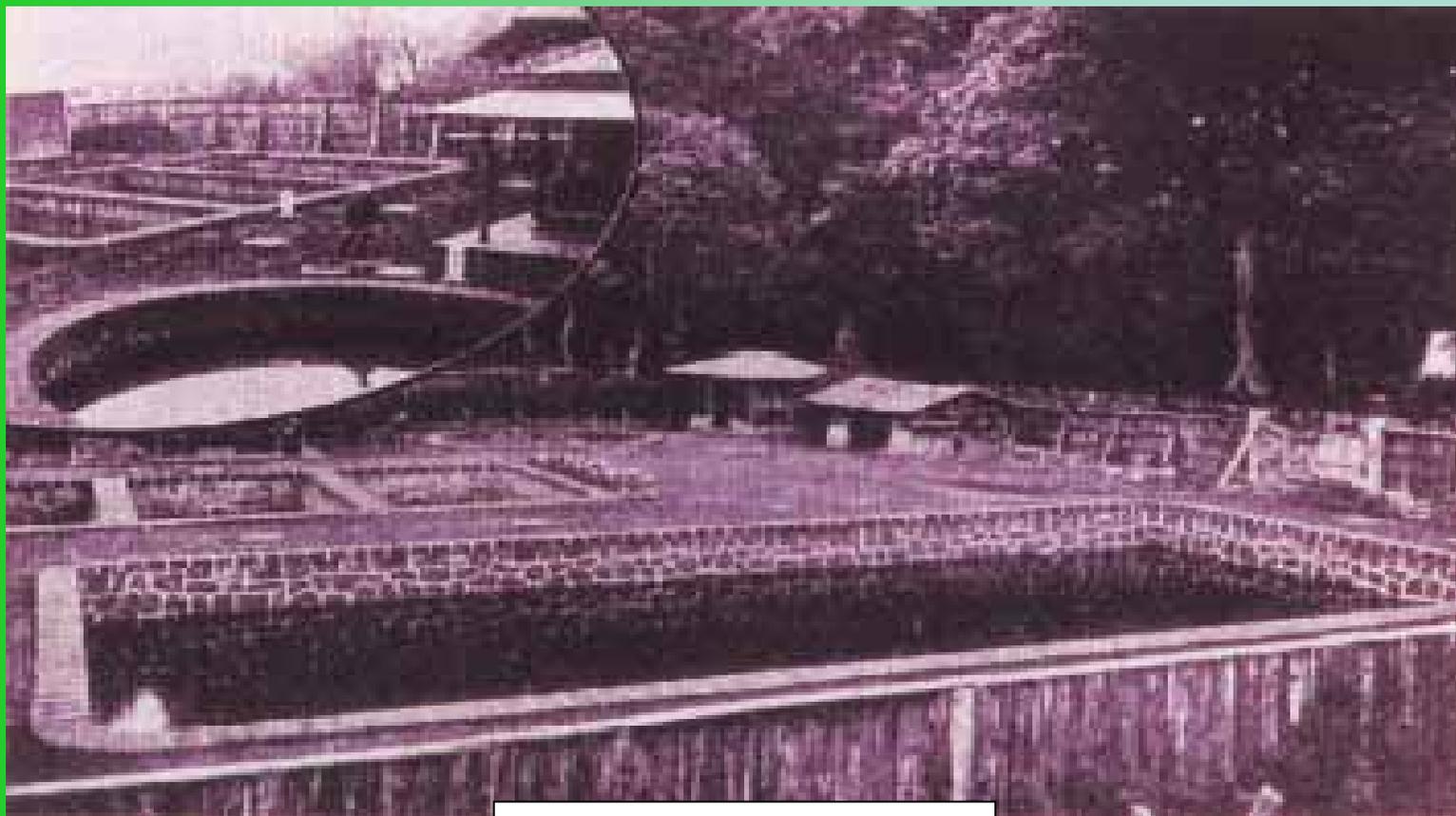
# 水瓶としての秦野盆地



# 水瓶としての秦野盆地

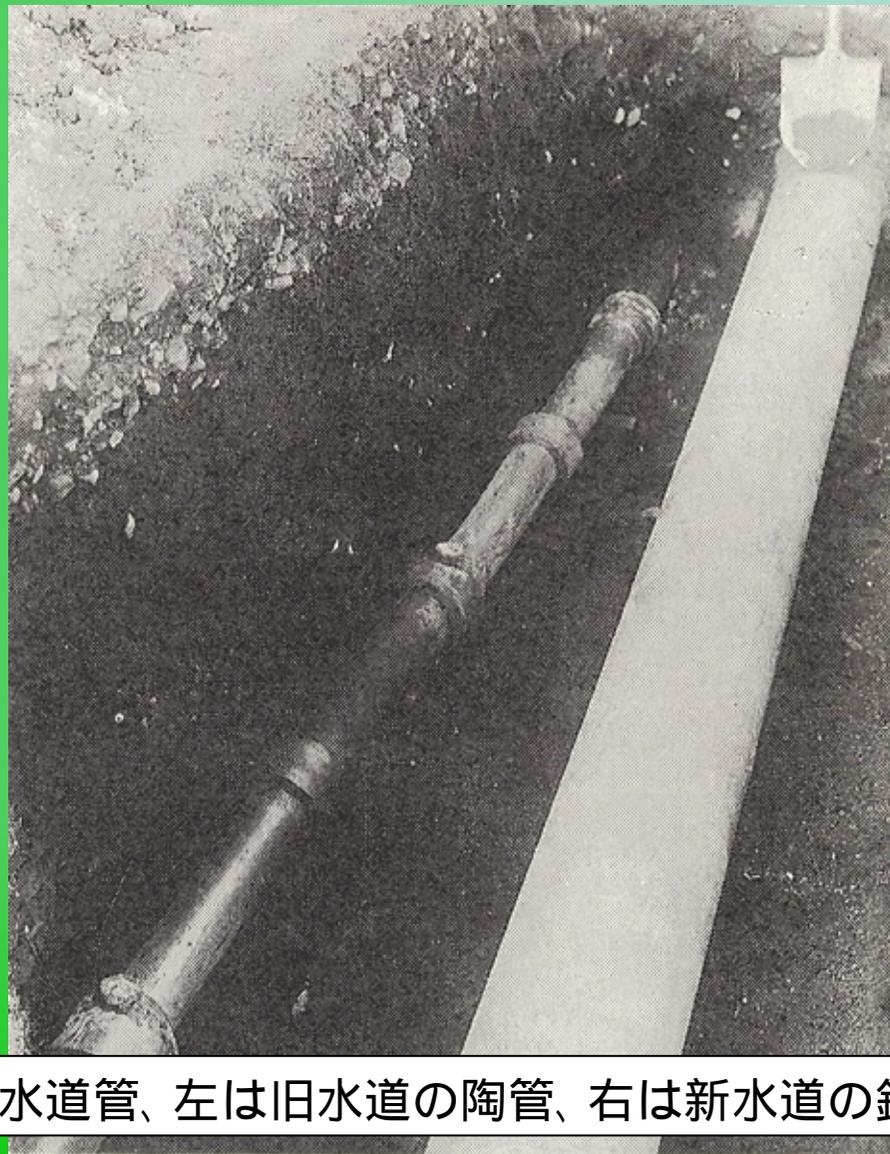


# 水道事業の発達



曾屋区水道「浄水工場」

# 水道事業の発達



新旧水道管、左は旧水道の陶管、右は新水道の鉄管

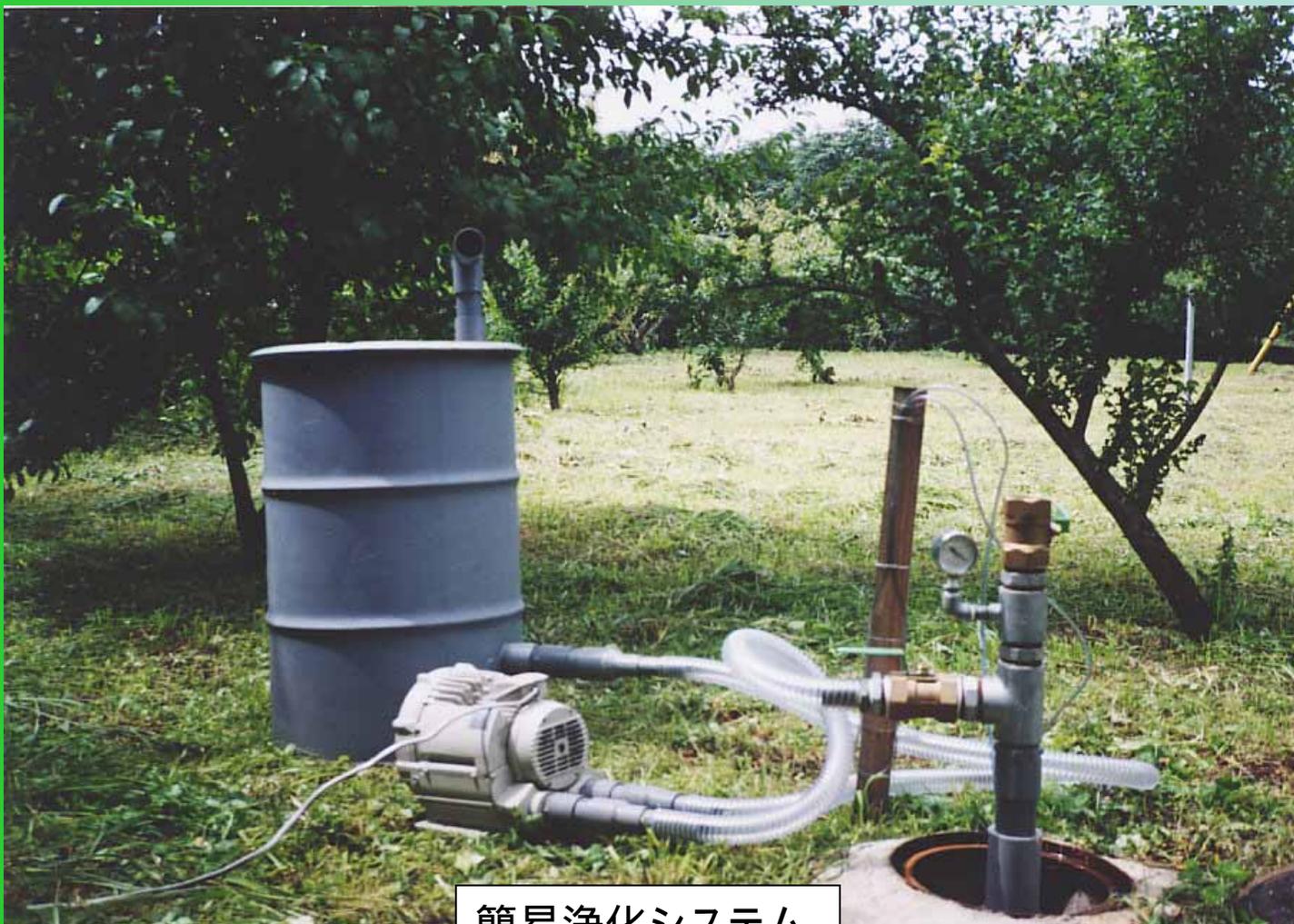
# 地下水汚染対策



地中から回収した汚染物質(テトラクロロエチレン)

回収量17,800kg(ドラム缶59本分)

# 地下水汚染対策



簡易浄化システム

# 地下水汚染対策



# 地下水汚染対策



「秦野盆地湧水群」名水復活宣言 記念式

# 丹沢の保全

# 丹沢大山総合調査（県）



# 丹沢大山総合調査（県）



丹沢の再生に無関心なあなたは  
エコロジーなんて語れない。

## 丹沢大山の保全と再生に向け、

県民と行政が共に、総合調査に取り組んでいます。

調査実施期間：2004年4月～2006年3月  
この総合調査は、丹沢大山の自然環境が荒廃しているという県民の声で始まった調査で、県民と行政が協力して行っています。植物や動物の生育・生態状況だけでなく、森林や河川・渓流・大沢などの自然環境全体、さらには自然と人間のかかわりをも対象としています。専門的な調査のほか、誰でも参加できる「県民参加型調査」や、アイデアを一般から募集した「公募型調査」を実施しています。丹沢大山の自然環境の危機を理解し、再生の担い手となっていただくために、まずはあなたにできることから始めてください。日常生活の中で環境負荷を減らす行動もお忘れなく。

## 【問い合わせ先】 丹沢大山総合調査実行委員会

〒231-8588（住所不詳）丹沢大山総合調査実行委員会（神奈川県横浜市緑区緑町）

TEL.045-210-4315 FAX.045-210-8848

e-mail: szkoen.258@pref.kanagawa.jp

URL: <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/05/1644/s-chousa/chousa.html>

協賛：サントリー(株)／トヨタエィンズグループ／(NPO法人)丹沢自然保護協会／東京電力(株)／(株)有隣堂／相模鉄道(株)／小田急電鉄(株)／神奈川県農業協同組合中央会／BS石井スポーツ(株)／神奈川県中央交通(株)／(株)カモシカスポーツ／(株)コージツ／(財)神奈川県公園協会／(財)かながわトラストみどり財団／(財)宮ヶ瀬ダム周辺振興財団／神奈川県



# 水源の森林づくり（県） 1



# 水源の森林づくり（県） 2



森林の間伐

# 市民による里山保全

## はだの森林づくりマスタープラン

—持続可能な森林づくりと自然との共生をめざして—



秦野市

1270

生け残割合70% (透林率) 再生域を確保しています。

# 市民による里山保全

保全活用研修の実施



里山ふれあいの森づくり事業

# 市民による里山保全

平成15年度

里山林保全調査委託業務

調査報告書



(秦野 里山林風景)

平成16年3月

計画機関 秦野市環境農政部農林土木課

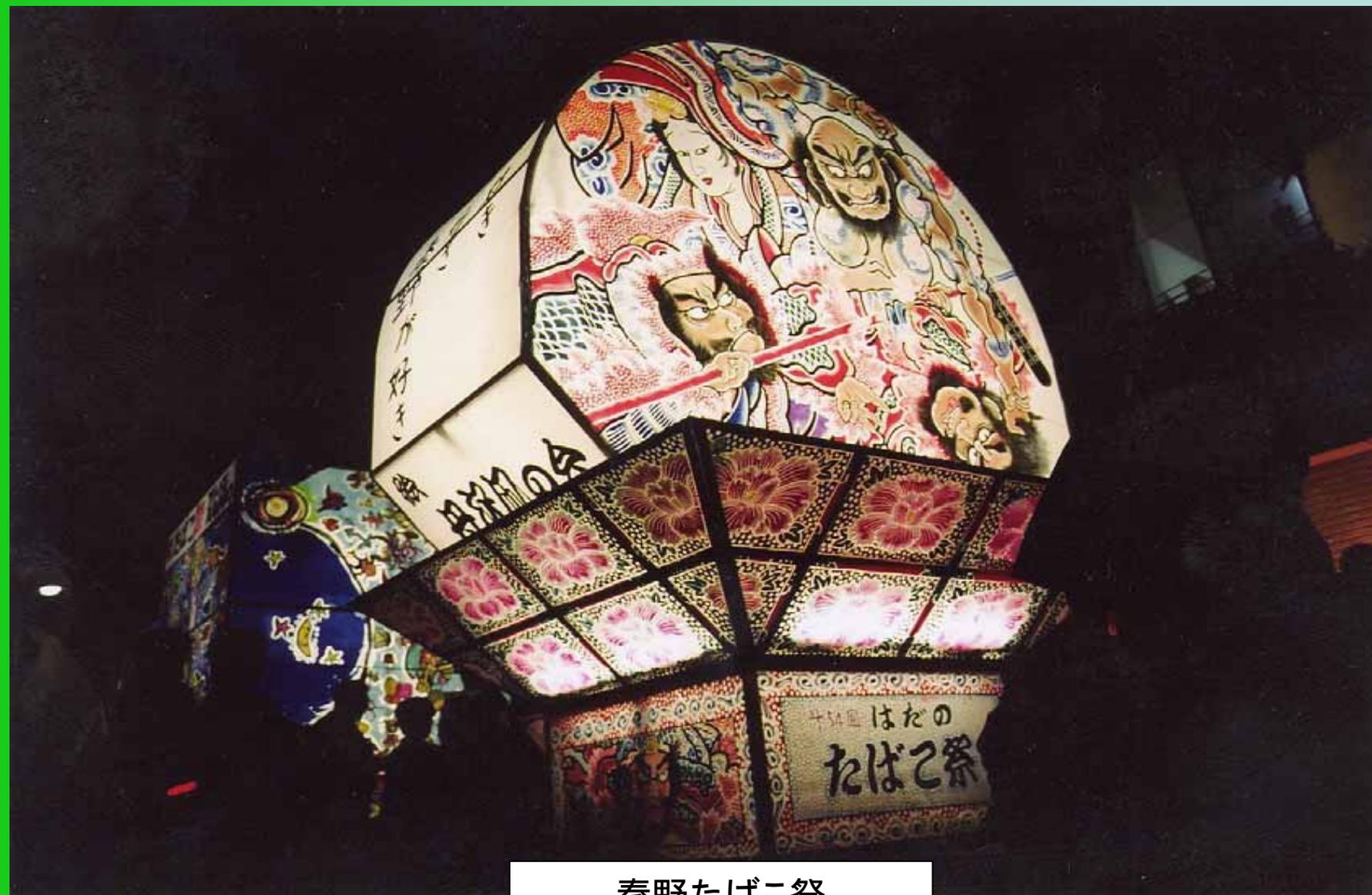
作業機関 株式会社 湘 南

# 市民による里山保全



# 葉たばこ耕作と秦野の里山

# 日本三大葉たばこ産地



秦野たばこ祭

# 里山の活用と自然環境



# 里山の活用と自然環境



## 2 農業者の抱える課題

# 鳥獣被害対策

鹿柵の設置



鹿柵周辺の整備

# ヤマビル対策



ヤマビル調査

# 農地の荒廃化と後継者の育成 1



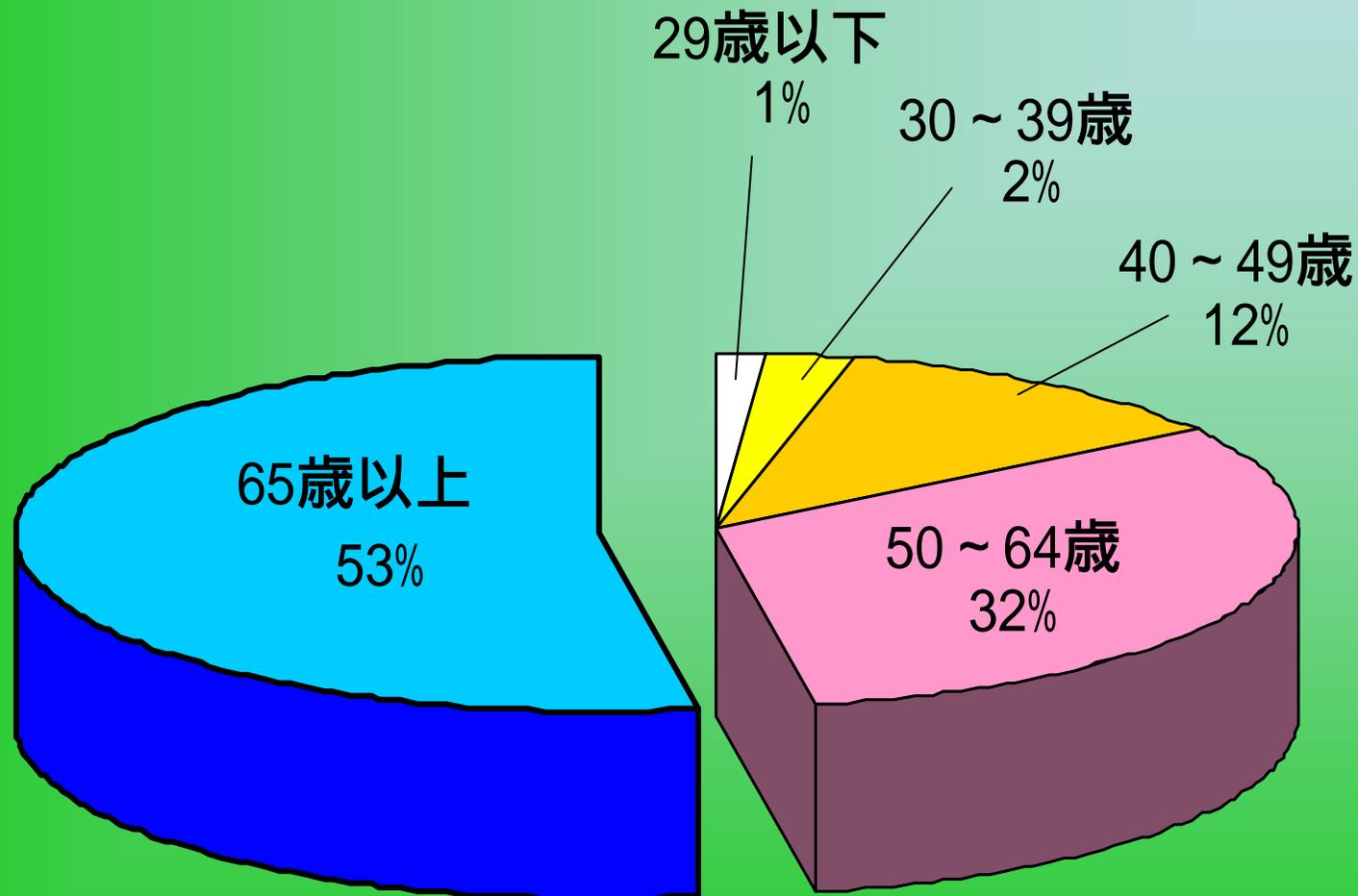
荒廃農地解消前



荒廃農地解消後

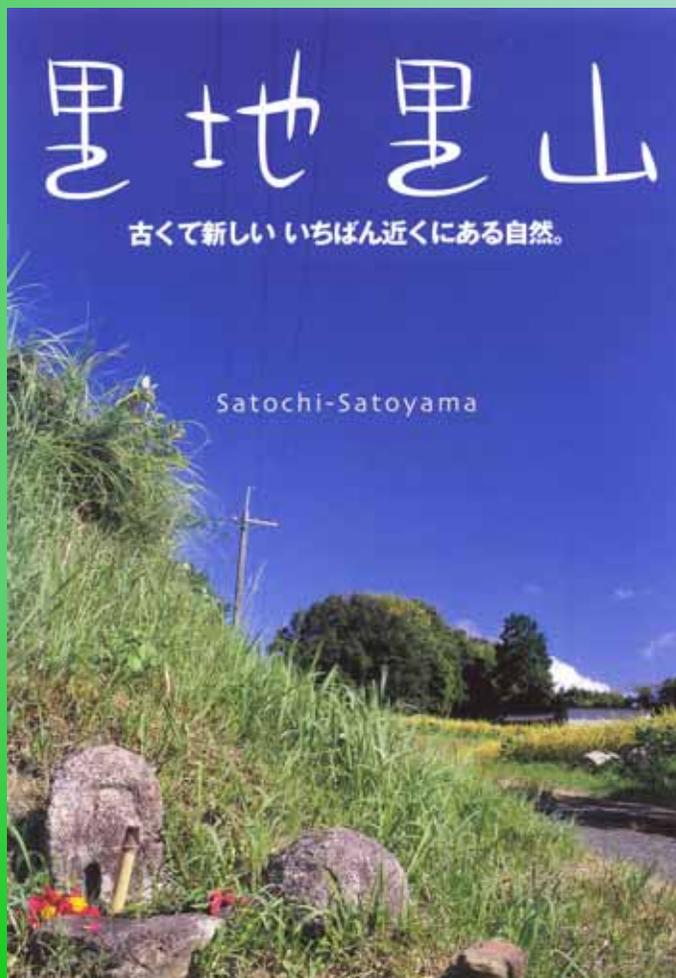


# 農地の荒廃化と後継者の育成 2



秦野市の基幹的農業従事者(年代別)

### 3 環境省里地里山保全再生 モデル事業の取り組み



# 里地里山づくりの基本的考え方

- ・たばこ栽培で培った農村文化
- ・管理の行き届いた里山
- ・周辺農地の原風景を再現

農業者の意欲  
市民やボランティアの熱意と力

希少動物の保護  
地下水の保全  
農作物の鳥獣被害の減少  
荒廃化した農地や山林の再生

行政支援

基本コンセプト  
秦野市の多様な施策に有効に機能  
市民が主体となったまちづくりを推進

## 農村住民との合意形成 1

- ・平成11年以降、秦野市では19の団体が里地保全再生に向けた活動を展開
- ・団体は、活動を通じて地元農民、地権者とのかかわりを形成してきたが、活動手法の相違により、地元住民の受け入れ意識が異なる

## 農村住民との合意形成 2

団体の活動内容	地元農業者の立場から見ると
・団体の組織充実と活性化 ・社会活動としての積極的な取り組み	・専門的かつ多彩な活動の展開により事業の推進が図れる ・地元住民に危機感・よそ者感覚を与える
・地元農業者を代表を代表とした組織 ・指導を受けながら自然環境復元活動として地道な取り組み	・地元住民との連携のもとで学校の環境学習の場として息の長い活動 ・組織の充実や活動の拡大が困難
・団体の目的(スポーツの振興・連帯感の育成)を達成するための手段として活動	・参加者の意識向上に向けた将来への期待感 ・継続性に疑問

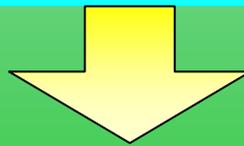
# 農村住民との合意形成 3

里山保全ボランティア			
1	秦野みどりの少年団	2	秦野スカウト会
3	NPO アイウエオサークル	4	里山会
5	秦野雑木林を守る会	6	ソフトボール部「リンクース」
7	まほろば里山林を育む会	8	宿矢名諏訪会
9	名古木里山を守る会	10	NPO 丹沢ドン会
11	四十八瀬川自然村	12	北小学校
13	秦野ロータリークラブ		
里地保全ボランティア			
1	荒廃農地解消市民の会	2	秦和会
3	(株)リコー	4	ゆう農倶楽部
「生き物の里」			
1	「生き物の里」柳川	2	「生き物の里」渋沢

## 農村住民との合意形成 4

それぞれのボランティア団体の活動状況と農村住民の反応を見定めて **課題** を整理

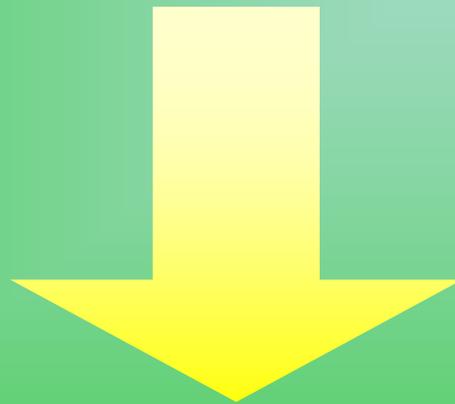
社会が求める活動であっても、その地域に潜在する社会的慣習、地域文化、生活を無視してはならない



「地元住民との合意形成・融和」が  
最優先

# 市施策としての確立 1

モデル事業成否の鍵は、里地里山保全再生事業を市民活動・社会活動として定着させること



次の3つの視点からの推進組織を整備し、市の施策としての確立を目指した

## 懇談会メンバー

ボランティア団体	まほろば里山林を育む会、NPO法人 アイウエオサークル、NPO法人 自然塾丹沢ドン会、荒廃農地解消ボランティアの会、渋沢ふれあいの里管理運営協議会、秦野野鳥の会、西湘地域連合
まちづくり委員会	東地区安心して住めるまちづくり運動実施委員会、北地区みんなで住みよいふるさとづくり運動推進委員会、西地区住みよいふるさとづくり運動推進委員会、上地区みんなで住みよいまちづくり運動推進委員会
農林業関係者	農業協同組合、森林組合、農業委員会

## 上地区意見交換会メンバー

里山保全団体	四十八瀬川自然村 柳川生き物の里
農林業団体	生産組合長代表、上秦野共有林組合、森林組合理事、農業委員、農協理事
その他の団体	上地区みんなで住みよいまちづくり運動推進委員会、農協上支所長

# 市施策としての確立 3

## 第2 ボランティア活動団体に対する支援

常時活発な活動を展開するボランティア11団体



里山ボランティア連絡会を組織



農業者や市に対する意見発表・提案の場



- ・地元との融和策を探る
- ・団体相互の意見交換を行いボランティア活動の活性化

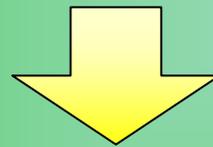
### ボランティア団体

秦野みどりの少年団・NPO法人 アイウエオサークル・かながわ山里会・秦野雑木林を守る会・ソフトボール部ドリンクーズ・まほろば里山林を育む会・宿矢名諏訪会・名古木里山を守る会・NPO法人 自然塾丹沢ドン会・四十八瀬川自然村・秦野スカウト会

# 市施策としての確立 4

## 第3 他分野の施策との整合

教育、開発、水道事業などの施策との整合を図ることが必要



関係11課で組織する庁内検討部会を組織し、中間報告、意見交換に努めている

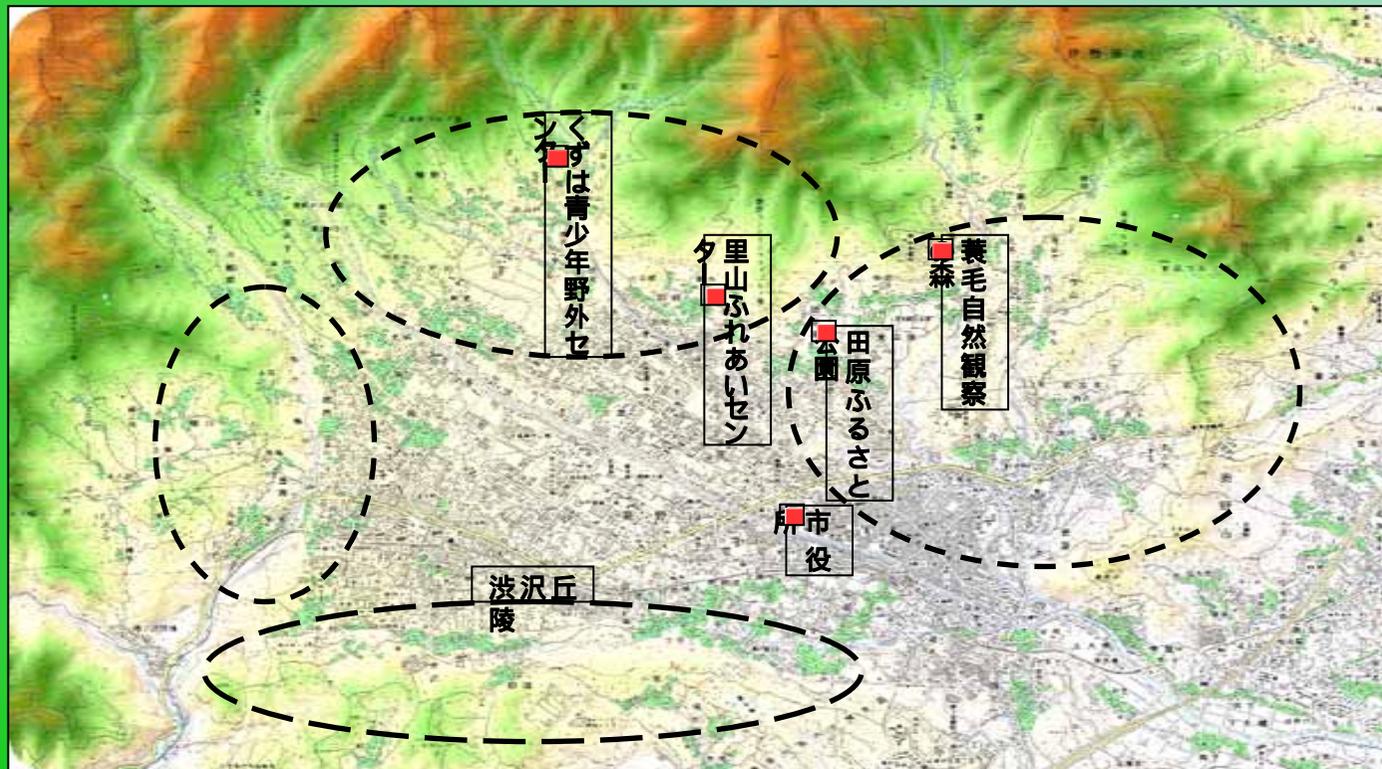
### 庁内検討部会

森林づくり課・環境保全課・環境衛生課・農産課・まちづくり推進課・公園みどり課、農業委員会・水道業務課・企画課・教育研究所・青少年課

# 試行事業を通じての市民理解

平成17年8月2日に3回目のモデル事業懇談会  
(全体会議)を開催

## 地域戦略(実施計画)素案の決定



# 平成17年度後半の試行事業

## 実施済み事業

上地区柳川生き物の里管理手法検討会  
ヤマビル生息調査  
ヤマビル撲滅試験圃の設置  
秦野の竹で熊手を作る活動  
上地区鹿対策で斜面の刈払い活動

## 今後実施する事業

上地区柳川生き物の里保全再生活動  
ボランティア養成研修  
上地区竹林の整備活動  
枝打ち間伐里山保全再生活動  
落ち葉かきで山の保全活動



# はだの里地里山ボランティア募集

## はだの里地里山 ボランティア募集

神奈川県横浜市は、環境省の里地里山保全再生モデル事業の指定を受けて、人と自然や生き物が共生できる里地里山づくりを行っています。今年度は、6つのさまざまな活動を行います。子どもから参加できる活動から、ある程度保全活動に慣れた方を対象とするものまであります。たくさんのご参加をお待ちしております。参加は、個人でも、スポーツクラブ・サークル・同好会・労働組合などの団体でも大歓迎です。(裏面に開催日、内容、募集人数などがあります)

■申し込み・お問い合わせ：横浜市役所森林づくり課森林づくり班  
電話 0463-82-5111(内線2634・5) FAX0463-82-5391  
電子メール sirin@city.hadano.kanagawa.jp

### 未経験でも 参加できます

ボランティア未経験の方でもかま・なた等の使い方や枝打ち・下刈り等のやり方などをお教えします。研修会(写真右)も予定しています。気軽に参加してください。



### 里地里山とは

里地里山とは、集落と奥山の中間にあり、農林業等の様々な人の働きかけを通じて環境が形成されてきた地域のことです。里地里山には、たくさんの生物が住み、身近な自然とのふれあいの場、自然環境教育のフィールドとして欠かせない地域になっています。



### 里山保全活動の理由

里山保全の内容は、森林内の下草刈り、間伐(木の伐採)、枝打ち、落ち葉かきなどです。実施すると下の写真のようなきれいで健康な森林になります。健康な森林は、生き物の活動も盛んなので水をたくさんたくわえることができます。



平成17年度(後半)は6つの里地里山保全活動を実施します。たくさんのご参加をお待ちしています。

10月8日(土) 養野の竹でくまの手を作る活動  
◎(初心者歓迎)

場所: 里山ふれあいセンター(室内)  
時間: 9:00~15:00  
内容: 保全活動(落ち葉かき)のためのくまの手を作る作業  
募集人数: 20人程度  
持ち物: 弁当、水筒(飲み物)、タオル  
締め切り: 10月6日(木)

10月18日(土) 上地区、鹿対策で飼育の刈り払い活動  
◎◎◎◎(保全活動経験者・熟練者)

場所: JA上支所前集合、上地区各地  
時間: 8:30~15:00(雨天翌日)  
内容: 飼育の刈り払い、網の捕獲等  
募集人数: 50人程度  
持ち物: 弁当、水筒、タオル、軍手、草刈り機等  
締め切り: 10月13日(木)

10月29日(土) 里川生き物の里 保全再生活動  
◎◎(初心者歓迎)

場所: 上公民館前集合、里川生き物の里  
時間: 9:00~15:00(雨天翌日)  
内容: 里地水辺の保全整備  
募集人数: 30人程度  
持ち物: 弁当、水筒(飲み物)、タオル、軍手  
締め切り: 10月27日(木)頃まで

11月26日(土) 上地区、竹林の整備活動  
◎◎◎◎(初心者歓迎)

場所: 上公民館前集合、上地区竹林  
時間: 9:00~15:00(雨天翌日)  
内容: 竹林間伐、片付け  
募集人数: 25人程度  
持ち物: 弁当、水筒(飲み物)、タオル、軍手  
締め切り: 11月24日(木)

12月3日(土) 里山保全再生活動  
◎◎(初心者歓迎)

場所: 里山ふれあいセンター集合、北地区別荘  
時間: 9:00~15:00(雨天12月10日)  
内容: 下刈り、枝打ち、間伐  
募集人数: 60人程度  
持ち物: 弁当、水筒(飲み物)、タオル、軍手  
締め切り: 12月1日(木)

2006年1月29日(土) 落ち葉かきでの保全活動  
◎◎◎◎(初心者歓迎)

場所: 里山ふれあいセンター集合、北地区別荘  
時間: 9:00~15:00(雨天2月4日)  
内容: 落ち葉かき  
募集人数: 60人程度  
持ち物: 弁当、水筒(飲み物)、タオル、軍手  
締め切り: 2006年1月26日(木)

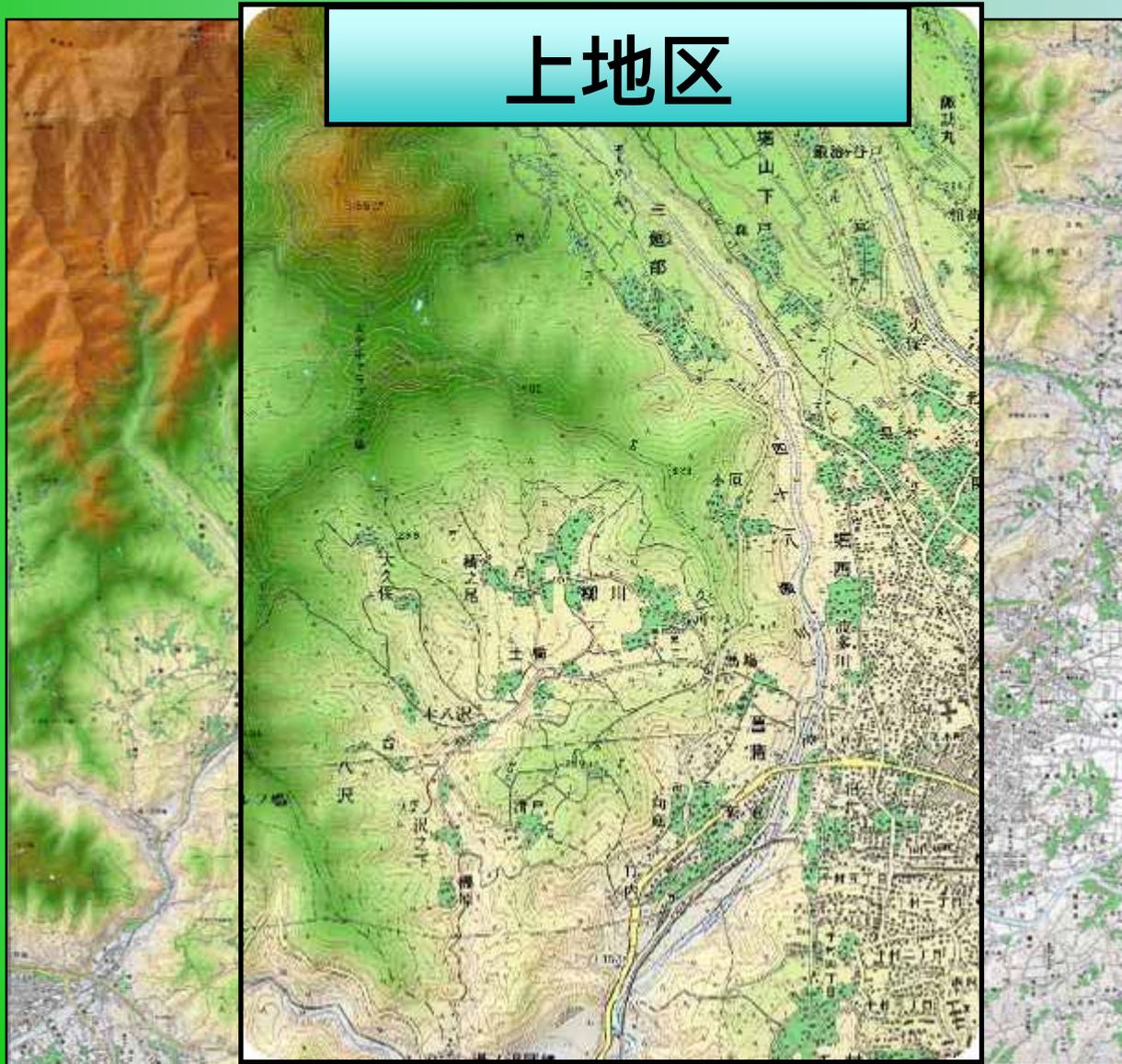
※は作業の難易度を示します。小学生以上は上級者、中学生以上です。参加費は、いずれも無料です。ただし、10月8日に作ったくまの手を持ち帰る方のみ1本1000円をお断りいたします。申込みの際には、お名前、連絡先(住所、電話、メール等)、年令をお知らせください。いかなる情報も、今回のイベントに関する限り保護いたします。本事業は、環境省里地里山保全再生モデル事業の試行事業です。主催は、横浜市森林づくり課および各地区や関係団体です。

申込み先 (FAX・電子メールにて申し込みください)  
横浜市役所森林づくり課森林づくり班  
電話: 0463-82-5111(内線2634・5)  
FAX: 0463-82-5391  
電子メール: sirin@city.hadano.kanagawa.jp  
試行事業ホームページ: <http://satohi.net/hadano/>

参加イベント日	10月8日	10月15日	10月29日	11月26日	12月3日	06年1月28日
申込代表者名			連絡先(電話かEメール)			
住所						
参加者名	年令	参加者名	年令	参加者名	年令	

# 秦野市

## 上地区



## 上地区の特性

全地域の9割以上が市街化調整区域

- ・宅地化が制限
- ・新住民の移住が極端に少なく、人口の減少
- ・高齢化の進行
- ・観光施設や公園等の都市施設がない
- ・交通の便が悪い

経済的に自立できる環境にない

## 鳥獣被害を解消

- ・ボランティアの力を借りて農業者自らが荒廃した里地里山を復元する必要がある
- ・経済的な自立を図るため、ボランティアと共同で里地里山の復元により、都市住民を引きつける魅力を作り出す

「上地区里地里山保全再生モデル事業運営協議会」発足

試行事業や推進組織を市民や他地区の農業者にPRし、農業者の意識啓発に努める

# 4 まとめ

# 環境施策と市民負担

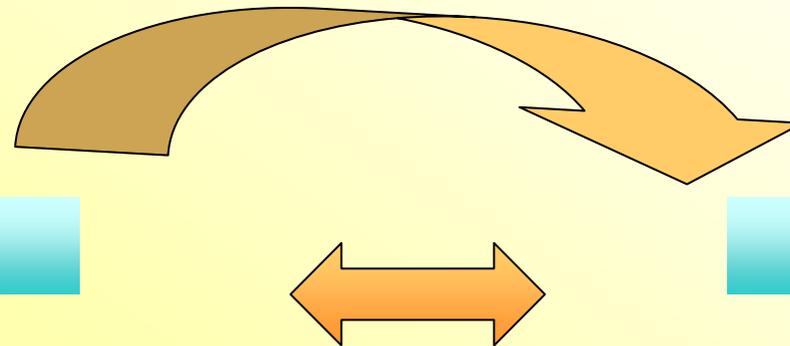
厳しい財政状況

市民が求める総合的な施策

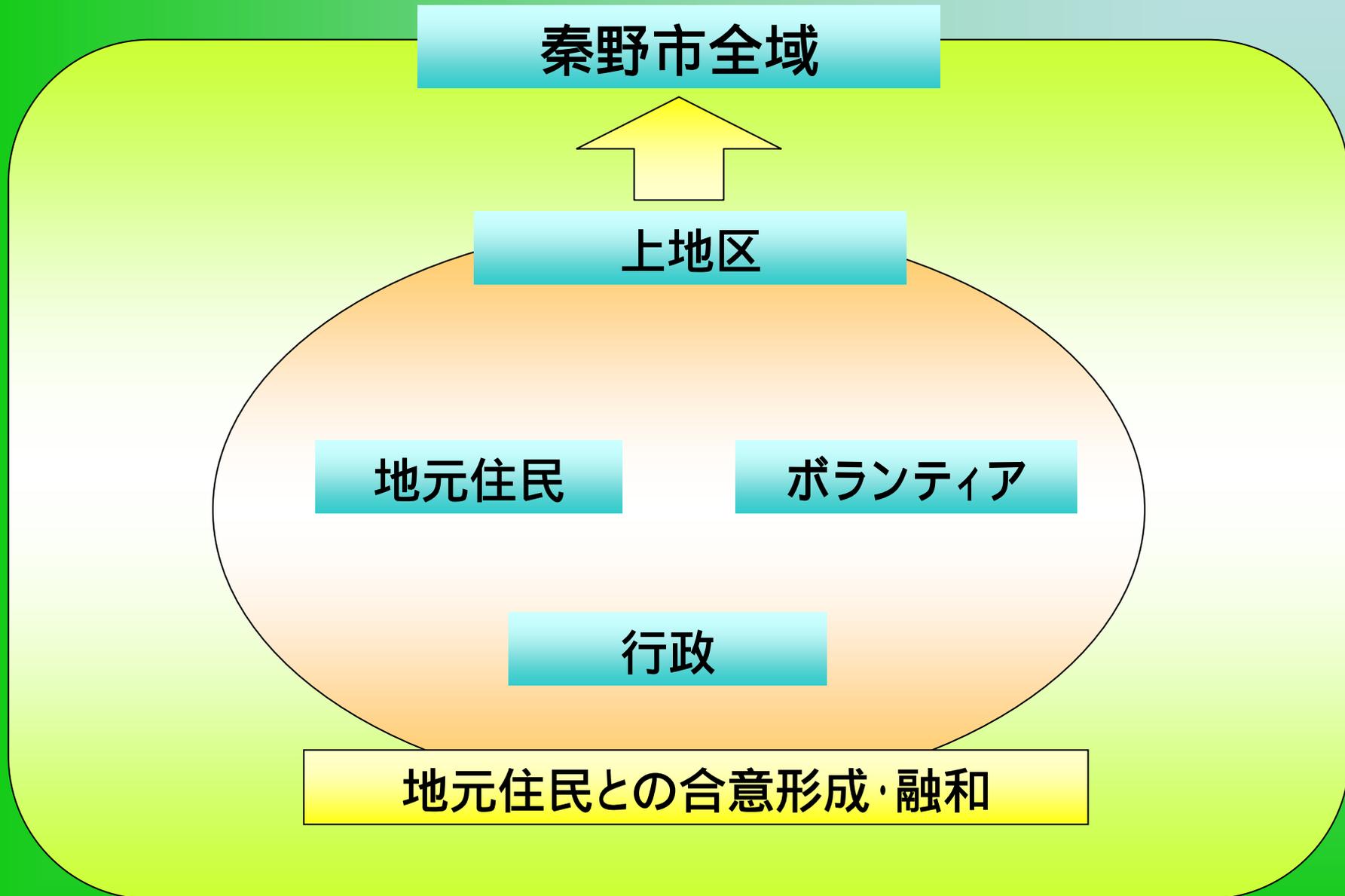
市民

行政

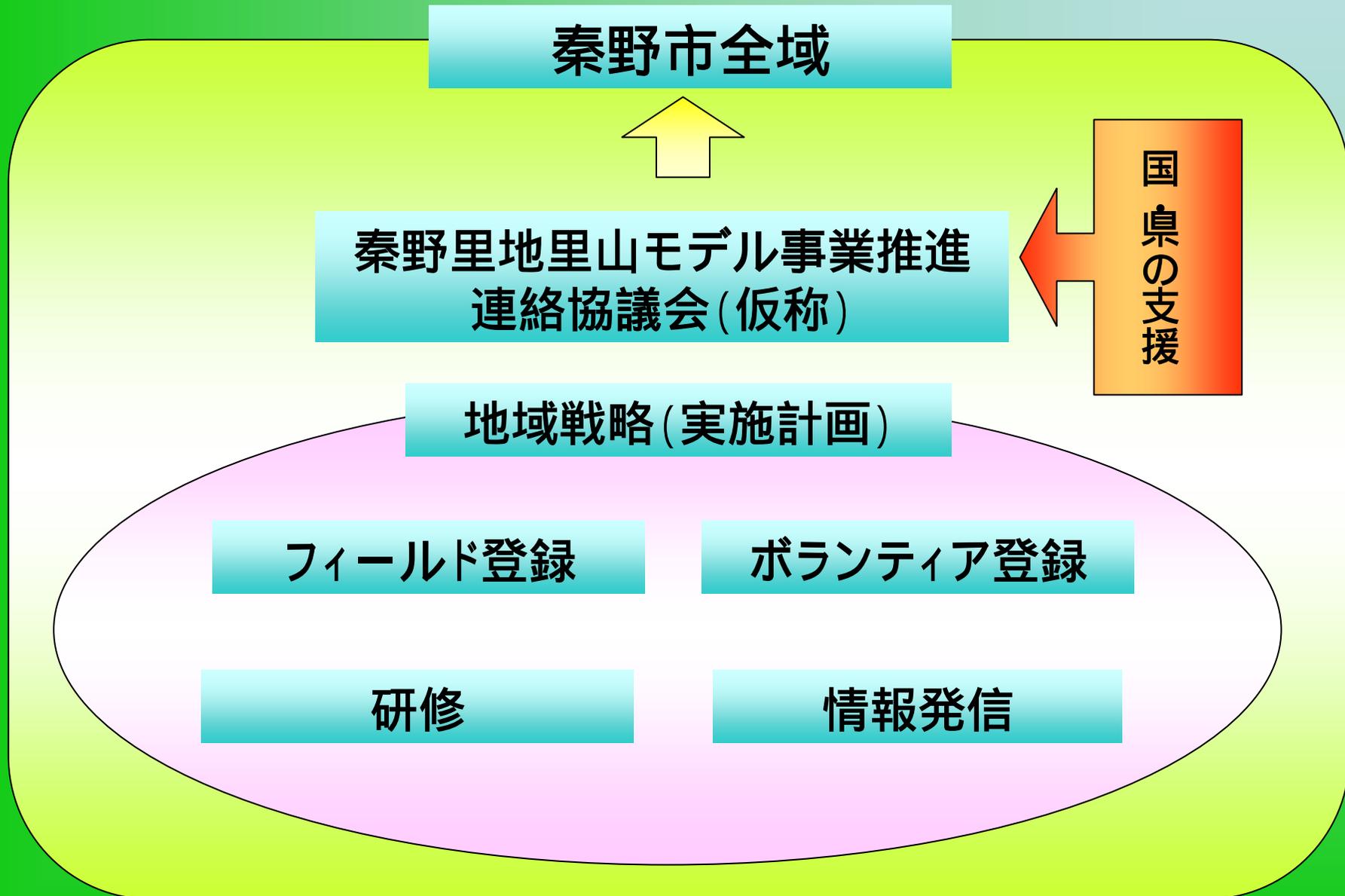
協働によるまちづくり



# 社会的合意形成と事業の継続性 1



# 社会的合意形成と事業の継続性 2



# 社会的合意形成と事業の継続性 2

